

生活習慣と眼の病気の ビミョーな関係。

●企画にあたって

昨今、われわれの生活習慣は急速に変化しています。特に、デジタルデバイスの普及、長時間の近業作業、運動不足、そして食生活の欧米化は、人類の健康に深刻な影響を及ぼしています。2013年に「Lancet」誌で発表された世界疾病負担研究（Global Burden of Disease Study）による推計では、感染症や非衛生的な飲料水による健康リスクを上回り、生活環境要因の変化が健康寿命の短縮や死亡率上昇に寄与していることが示唆されました。

こうした生活習慣の変化は、眼の健康にも多面的な影響を与えていることが指摘されています。近年、人工知能（AI）技術の進展により眼を通じて全身の健康状態を予測する「oculomics」研究が注目を集めており、今後さらにライフスタイル変容による影響の解明が期待されています。

本特集では、「生活習慣と眼の病気のビミョーな関係。」というタイトルのもと、前眼部から後眼部にいたるさまざまな眼疾患とライフスタイル要因の関連に焦点を当て、各分野のエキスパートの先生方に最新の知見や今後の展望についてご解説いただきました。

本特集が、読者の先生方の日々の診療や臨床研究の一助となることを願っています。また、ライフスタイルは人種や地域によって大きく異なるため、ぜひ多くの若手研究者がこの分野に関心をもち、日本人集団における新たなエビデンスの発信にご尽力いただけることを心より祈念しています。

羽入田 明子

慶應義塾大学医学部眼科学教室